

「とやまの名水」の追加選定にあたり、科学・文化の関連分野の専門家、有識者で構成する「とやまの名水検討委員会」を新たに設置し、総合的に検討しました。

● 「とやまの名水」選定基準

- ①きれいな水で、古くから生活形態や水利用等において、水質保全のための社会的配慮が払われているもの
- ②湧水等で、ある程度の水量を有する良質なものであり、地方公共団体等において、その保全に力を入れているもの
- ③いわゆる名水として、故事来歴を有するもの
- ④その他、特に自然性が豊かであり、希少性や特異性を有するなど、優良な水環境として後世に残したいもの

● とやまの名水検討委員会委員（平成17年度）

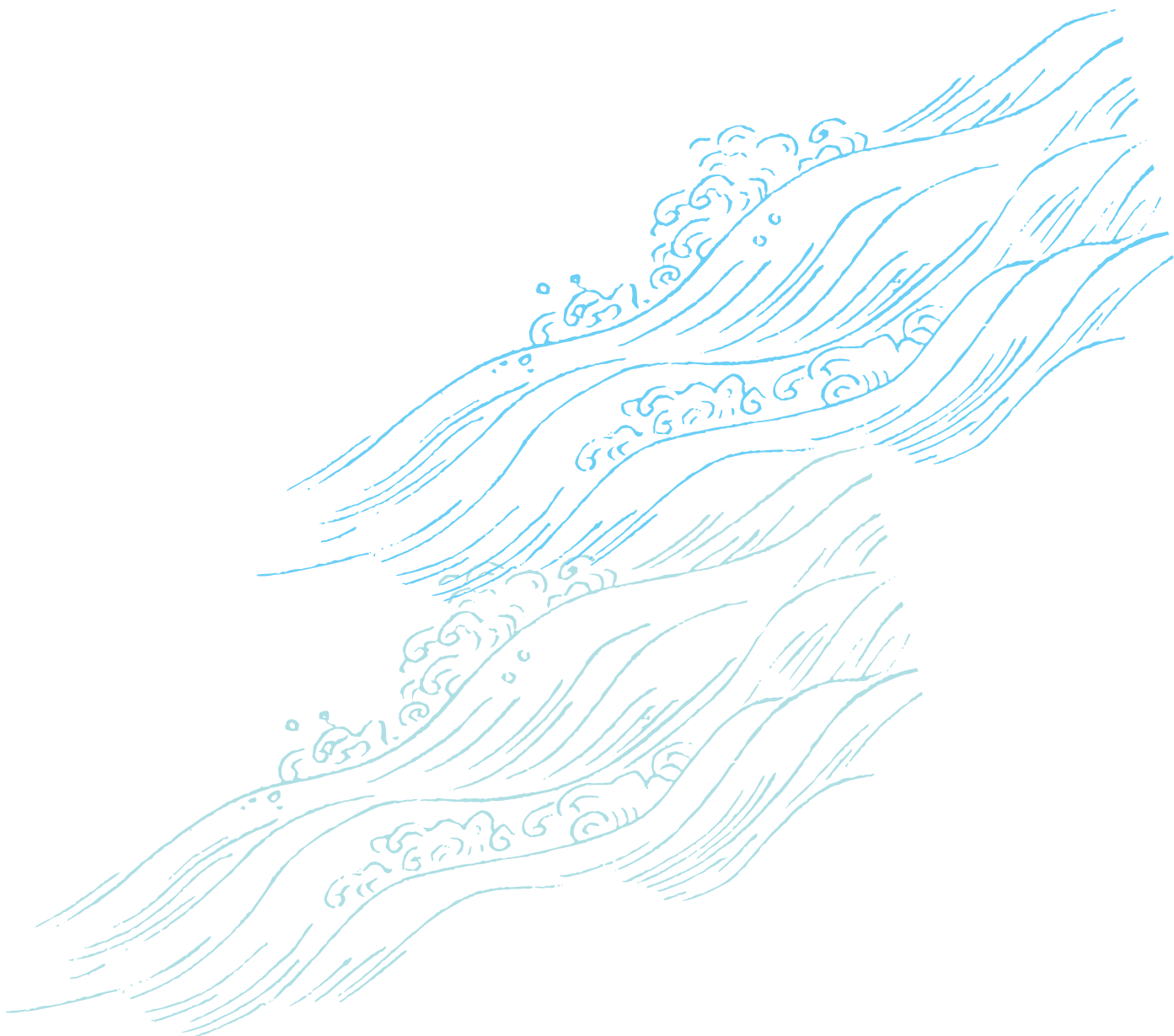
氏 名	役 職 等
鏡 森 定 信	富山大学医学部教授
小 柳 博 美	宇奈月温泉「かたかご会」会長
沢 樹 舞	作家、ラジオパーソナリティ
陶 智 子	富山短期大学助教授
◎高 倉 盛 安	元富山県立大学短期大学部長
瀧 本 裕 士	富山県立大学短期大学部助教授
辺 井 万里子	富山県茶道連盟理事長
畠 山 満喜子	富山県歌人連盟理事
○古 米 保	富山県立大学工学部教授
宮 口 侗 廸	早稲田大学教育学部教授
米 原 寛	立山博物館 館長

◎：委員長 ○：委員長職務代理者（50音順）

次世代へ 引き継ごう

「とやまの名水」は、富山県が誇るすばらしい水環境のシンボルです。今後も守り育て、より価値を高め、後世に引き継いでいくためには、地元の皆様の保全活動や利用される皆様の環境保全意識が大切です。

県では、地元の市町と連携し、定期的な点検を行います。



とやまの名水検討委員会委員の皆様や資料・写真等の提供にご協力いただいた地元の市町にお礼申し上げます。